

埼玉県研究協議会資料の作成上の留意点

第1主題 種目 陸上競技（長距離走）

学級数 12

支部番号 ○○ 支部名 ○◎市

埼玉 太郎（○○市立◎◎中学校）

研究主題 「生徒一人一人を確実に伸ばす保健体育指導の実践」

第一主題 陸上競技の特性に応じた効果的な学習指導の工夫
～生徒一人一人を確実に伸ばす「陸上競技」の学習指導の工夫～

研究の柱 生徒一人一人を確実に伸ばす学習過程の工夫

1 研究の目的

- 3年間を見通した単元の計画の工夫
 - 生徒一人一人を確実に伸ばす学習過程の工夫
 - 生徒一人一人を確実に伸ばす指導方法の工夫(TTや個別指導等)
 - 生徒の主体的な学び合いや教え合いを引き出すための計画的・意図的な指導の工夫
 - 生徒の学習を支える学習資料や教材・教具の工夫
- ※上記の柱から1～2選び自己の研究の柱として進めてもらいます。

○なぜその柱を選んだのかを述べる必要がある。「研究の柱」を設定した理由や学校の課題解決等の目的を記入する。アンケート結果や生徒の実態等を入れるとより実態が明確になる。

2 研究の仮説と手立て

〈仮説1〉

○仮説に対する手立て

- ①
- ②

〈仮説2〉

○仮説に対する手立て

- ①
- ②

- 「研究の柱」に対して〈仮説〉を1～2設定し、その実現に対する〈手立て〉を1～3設定する。
- 仮説の設定については目的や柱からずれてはいけない。仮説の設定を謝ると研究のスジが通らなくなる

1 ページ目

3 研究の実践内容

〈仮説 1〉

手立て①

- 仮説に対する手立てをわかりやすく記入する。
- 先生方の実践に対する考えやこだわりを書いていただければと思います。
- 指導案を貼り付けるだけはやめてください。
- 写真や図等は手立てを上手に説明するものだけを取り上げ、効果的に使用してください。

手立て②

〈仮説 2〉

手立て①

手立て②

2 ～ 3 ページ目

4 研究の成果と課題

〈仮説 1〉

(1) 成果

(2) 課題

〈仮説 1〉

(1) 成果

(2) 課題

- 研究の成果と課題についてまとめる。
- それぞれの仮説に対する成果を述べるとすっきりする。
- 数値で表せるものは数値で記載する。また生徒の学習カード等の言葉から。
- 研究のねらいや目的を否定するような課題は記載しない。

4 ページ目